



2017年6月23日

報道機関関係者 各位

～大学キャンパスで地域の方と学生の交流を創り出す！～
昼どき野菜市「しょうけい語らいマルシェ」
のお知らせ

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

尚綱学院大学では2017年度より「地域実践コース」がスタートし、地域課題の解決に向けた活動を作り出していき、温かく行動力にあふれる地域人育成を目指しています。様々な手段を用いて地域に関わり、学生の学び、育ち、社会人として活躍できる場を広げていく場として、**昼どき野菜市「しょうけい語らいマルシェ」を初開催**する運びとなりました。

本企画では地元地域や被災地の課題に野菜づくりをとおして取り組む団体、また地元の農産物を材料に用いたジェラードを販売している方をお招きし、学内でマルシェ(市場)の第1回目を6/26(月)11:30～尚綱学院大学において開催します。

単に農業復興への支援や販売だけが目的ではなく、学生がその準備・運営に関わり、定期開催を行っていくことによって、大学が地域間交流を創出し、つながりを育む役割を担い、他地域の生産者が連携するきっかけ作りも目指していきます。

学生が地域の生産団体・実業者とともに、地元の特産物・地域資源をPRする機会として、報道関係者のみなさまにおかれましても、ご来場・参加いただき、情報発信へのお力添えを頂きますよう宜しくお願いいたします。

記

1. 概要

昼休み時間に、学内で、那智が丘で定期的に野菜市を開いている地区団体を中心に、各地の生産・実業者を誘い、学生・教職員・幼稚園保護者など向けに出張販売してもらう試行開催を行う。その後、定期開催に向けた検討をはかる。

2. 期待する目的(定期開催に向けて)

- (1) 地域住民と学生が気軽に語らい交流できる場になる。
- (2) 学内で学生が手軽に地域住民と協働して活動を実施運営できる場になる。
- (3) 学生が地域の生産団体・実業者・地元産物などを知る機会になる。
- (4) 各地域の生産団体・実業者どうしと本学が、気軽に地域連携・産学連携の機会をはかる場になる。

3. 開催場所・日時

場所：尚綱学院大学 学生会館入口近く(屋外)

日時：6月26日(月)午前11:30～13:30 なくなり次第終了

4. 参加協力団体者・販売品(詳細は別紙をご参照ください)

- (1) 「那智が丘野菜市プロジェクト」代表：高橋範幸氏(4名)
那智が丘周辺、丸森町などの農家の朝採り野菜(玉ねぎなど)
- (2) 名取市ナチュリノ(宮城県内など食材使用のジェラード) 移動販売車による
- (3) 山形県舟形町堀内ファーム(4名) (ニラ、アスパラなど)
- (4) 川崎町 imacoco citta 農園 (各種 有機・無農薬野菜)

<問い合わせ先>

尚綱学院大学連携交流課

電話 022-381-3315